



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月27日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7970 URL <http://www.shinpoly.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小野 義昭  
 問合せ先責任者（役職名） 管理本部経理部長（氏名） 平澤 秀明（TEL） 03(5289)3716  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

### (1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	56,948	7.1	2,907	57.8	3,496	54.0	2,347	48.5
27年3月期第3四半期	53,149	7.6	1,842	122.3	2,271	81.4	1,580	176.6

（注）包括利益 28年3月期第3四半期 △395百万円（-%） 27年3月期第3四半期 2,247百万円（△35.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	28.73	28.64
27年3月期第3四半期	19.43	19.38

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	95,339	70,616	74.1
27年3月期	93,889	72,250	76.0

（参考）自己資本 28年3月期第3四半期 70,599百万円 27年3月期 71,355百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
28年3月期	—	4.50	—		
28年3月期(予想)				4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	73,000	1.8	3,400	52.4	3,800	32.6	2,500	40.6	30.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	82,623,376株	27年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	786,802株	27年3月期	1,041,774株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	81,722,865株	27年3月期3Q	81,318,114株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国の景気減速やASEAN諸国の景気鈍化の一方で、欧州での緩やかな景気回復や米国での個人消費、住宅投資の加速の動きから、全体的には緩やかな景気回復が続きました。日本経済は、円安進行による輸入コストの上昇などがありましたものの、企業収益の改善傾向が継続し、個人消費も底堅く、緩やかな景気回復基調が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、自動車関連分野、半導体及びOA機器関連分野の需要が堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、販売面では、成長製品の拡販を国内外で継続展開し、生産面では、能力増強や生産効率及び品質の向上などを目指した設備投資を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は569億48百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は29億7百万円（前年同期比57.8%増）、経常利益は34億96百万円（前年同期比54.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億47百万円（前年同期比48.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に好調な出荷が続くなど、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸ばしました。

入力デバイスは、自動車の電装化進展を背景に自動車用キースイッチ及びタッチスイッチの出荷が順調に推移しました。また、薄型ノートパソコン用タッチパッドは、新機種の出荷も堅調でした。ディスプレイ関連デバイスは、視野角制御フィルム（V C - F i l m）の自動車用途が伸び、液晶接続用コネクタは堅調に推移しました。コンポーネント関連製品は、半導体検査用コネクタが順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は150億82百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は11億79百万円（前年同期比33.2%増）となりました。

## ②精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器、キャリアテープ関連製品の出荷が堅調に推移し、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸ばしました。

半導体関連容器は、半導体業界の好調な需要を背景に主力の300mmウエハー用製品の出荷が順調に推移しました。OA機器用部品は、主要ユーザー向け製品の出荷が回復するなど、堅調に推移しました。キャリアテープ関連製品は、スマートフォン向けや自動車電装分野向けの高需要が継続し、その中でもセラミックコンデンサーなどの微細部品用製品の出荷が伸長しました。シリコーンゴム成形品は、メディカル関連製品や建材関連製品など主力製品が安定した出荷で推移しました。

この結果、当事業の売上高は230億57百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は22億89百万円（前年同期比38.7%増）となりました。

## ③住環境・生活資材事業

当事業では、市場の需要低迷と価格競争の激化により、全体として売上げは前年並みとなりました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向けの出荷が伸び悩みましたが、外食産業向けの出荷が堅調に推移しました。塩ビパイプ関連製品は、住宅着工戸数が回復基調でしたが、厳しい状況が続きました。機能性コンパウンドは、自動車用が安定的に推移したものの、電線用が低迷しました。

この結果、当事業の売上高は139億26百万円（前年同期比0.3%減）、営業損失は2億10百万円（前年同期は6億9百万円の損失）となりました。

## ④その他

工事関連事業では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件の受注が増加し、売上げを伸ばしました。

なお、報告セグメントに含まれない新規事業開発関連をその他に含めております。

この結果、その他の売上高は48億82百万円（前年同期比17.0%増）、営業損失は3億70百万円（前年同期は48百万円の損失）となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月22日に公表いたしました平成28年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が249百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,333	38,543
受取手形及び売掛金	19,050	19,002
商品及び製品	5,801	5,540
仕掛品	1,349	1,412
原材料及び貯蔵品	2,297	2,263
未収入金	1,293	1,021
繰延税金資産	1,054	987
その他	1,906	3,658
貸倒引当金	△423	△453
流動資産合計	69,663	71,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,863	6,149
機械装置及び運搬具（純額）	5,575	5,070
土地	6,544	6,403
建設仮勘定	691	1,465
その他（純額）	1,019	1,050
有形固定資産合計	20,693	20,139
無形固定資産		
ソフトウェア	383	324
その他	146	116
無形固定資産合計	530	441
投資その他の資産		
投資有価証券	1,551	1,437
繰延税金資産	322	318
その他	1,127	1,025
投資その他の資産合計	3,001	2,782
固定資産合計	24,225	23,363
資産合計	93,889	95,339

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,338	14,795
短期借入金	0	0
未払金	2,493	2,881
未払法人税等	229	840
未払費用	1,768	2,542
賞与引当金	1,094	664
役員賞与引当金	42	29
その他	896	1,188
流動負債合計	19,864	22,944
固定負債		
長期借入金	1	0
退職給付に係る負債	1,331	1,328
その他	441	448
固定負債合計	1,774	1,778
負債合計	21,638	24,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,718
利益剰余金	46,321	47,872
自己株式	△731	△552
株主資本合計	67,694	69,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	441	419
為替換算調整勘定	3,200	496
退職給付に係る調整累計額	18	9
その他の包括利益累計額合計	3,660	925
新株予約権	58	17
非支配株主持分	836	—
純資産合計	72,250	70,616
負債純資産合計	93,889	95,339

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	53,149	56,948
売上原価	39,128	41,339
売上総利益	14,021	15,609
販売費及び一般管理費	12,178	12,701
営業利益	1,842	2,907
営業外収益		
受取利息	190	184
為替差益	490	641
その他	55	138
営業外収益合計	736	964
営業外費用		
固定資産除却損	282	353
その他	25	21
営業外費用合計	308	374
経常利益	2,271	3,496
特別利益		
新株予約権戻入益	62	27
特別利益合計	62	27
特別損失		
減損損失	—	53
特別損失合計	—	53
税金等調整前四半期純利益	2,333	3,471
法人税、住民税及び事業税	592	1,058
法人税等調整額	188	56
法人税等合計	780	1,114
四半期純利益	1,553	2,356
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△26	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,580	2,347



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,553	2,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	157	△22
為替換算調整勘定	556	△2,721
退職給付に係る調整額	△19	△8
その他の包括利益合計	694	△2,752
四半期包括利益	2,247	△395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,258	△387
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	△8

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,621	21,382	13,972	48,976	4,173	53,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,621	21,382	13,972	48,976	4,173	53,149
セグメント利益又は損失(△)	885	1,650	△609	1,926	△48	1,877

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおりません。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,926
「その他」の区分の損失	△48
棚卸資産の調整額	△44
固定資産の調整額	7
貸倒引当金の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	1,842

当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,082	23,057	13,926	52,066	4,882	56,948
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,082	23,057	13,926	52,066	4,882	56,948
セグメント利益又は損失(△)	1,179	2,289	△210	3,257	△370	2,886

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,257
「その他」の区分の損失	△370
棚卸資産の調整額	10
固定資産の調整額	9
貸倒引当金の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	2,907